

平成29年度下水道事業会計予算の概要

資料 2

(1) 業務量

区 分 項 目	平成29年度 当初予算	平成28年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
年間汚水処理量(百万m ³)	179.1	178.0	1.1	0.6
1日平均汚水処理量(万m ³)	49.0	48.8	0.2	0.4
年間汚水中継量(百万m ³)	25.5	25.0	0.5	2.0
年間雨水排除量(百万m ³)	15.6	15.2	0.4	2.6

(2) 財政規模 (税込額)

(単位:億円)

区 分 項 目	平成29年度 当初予算	平成28年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
収益的支出	355.7	359.6	▲3.9	▲ 1.1
資本的支出	290.1	321.2	▲31.1	▲ 9.7
合 計	645.8	680.8	▲35.0	▲ 5.1

(3) 経営収支 (税抜額)

(単位:億円)

区 分 項 目	平成29年度 当初予算	平成28年度 当初予算	対前年度予算		主な増減理由	
			差 引	伸び率(%)		
収 益	下 水 道 使 用 料	186.4	188.4	▲2.0	▲ 1.1	[注1]
	雨 水 処 理 補 助 金	39.0	41.0	▲2.0	▲ 4.9	
	長 期 前 受 金 戻 入	101.9	103.0	▲1.1	▲ 1.1	
	そ の 他 収 益	10.6	11.2	▲0.6	▲ 5.4	
	特 別 利 益	1.0	1.0	0.0	0.0	一般会計補助金カット返還分 1億円 [注2]
	合 計 (A)	338.9	344.6	▲5.7	▲ 1.7	
費 用	維 持 管 理 費	93.9	92.9	1.0	1.1	
	人 件 費	24.9	26.1	▲1.2	▲ 4.6	
	物 件 費	69.0	66.8	2.2	3.3	修繕・機器点検費の増
	資 本 費	252.1	255.6	▲3.5	▲ 1.4	
	減 価 償 却 費 等	222.4	223.0	▲0.6	▲ 0.3	
	支 払 利 息	29.7	32.6	▲2.9	▲ 8.9	平均利率の減
	特 別 損 失	0.3	1.8	▲1.5	▲ 83.3	三宮南地区暫定施設撤去事業の減
	合 計 (B)	346.3	350.3	▲4.0	▲ 1.1	
当年度損益(A)-(B)=(C)		▲7.4	▲5.7	▲1.7	—	
前年度末累積損益(D)		6.1	11.8	—	—	
当年度末累積損益(C)+(D)		▲1.3	6.1	—	—	

[注1] 「下水道使用料」には、民間社会福祉施設等の減免に対する他会計負担金を含む。

[注2] 平成29年度末の残高見込みは23億円となっている。(平成8～10年度カット額153億円)

(4) 資本的収支（税込額）

（単位：億円）

項 目	区 分	平成29年度 当初予算	平成28年度 当初予算	対前年度予算	
				差 引	伸び率(%)
収 入	企 業 債	104.2	103.0	1.2	1.2
	国 庫 支 出 金	48.1	45.1	3.0	6.7
	他 会 計 繰 入 金	5.4	5.2	0.2	3.8
	財 産 収 入	0.1	0.2	▲0.1	▲50.0
	基 金 繰 入 金	0.0	22.0	▲22.0	皆減
	雑 収 入	2.1	6.8	▲4.7	▲69.1
	工 事 負 担 金	2.1	6.8	▲4.7	▲69.1
	そ の 他 収 入	0.0	0.0	—	—
	合 計 (A)	159.9	182.3	▲22.4	▲12.3
支 出	建 設 改 良 費	200.6	197.8	2.8	1.4
	処 理 場 建 設 費	29.0	41.0	▲12.0	▲29.3
	ポ ン プ 場 建 設 費	12.0	2.6	9.4	361.5
	汚 水 幹 枝 線 布 設 費	77.5	76.7	0.8	1.0
	雨 水 幹 枝 線 布 設 費	20.5	27.7	▲7.2	▲26.0
	流 域 下 水 道 事 業 費	1.8	1.8	0.0	0.0
	処 理 施 設 等 整 備 費	59.8	48.0	11.8	24.6
	基 金 へ の 積 立	1.3	3.3	▲2.0	▲60.6
	企 業 債 等 償 還 金	87.9	119.8	▲31.9	▲26.6
	予 備 費	0.3	0.3	—	—
	合 計 (B)	290.1	321.2	▲31.1	▲9.7
収支差引 (A) - (B)		▲130.2	▲138.9	8.7	—

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 130.2億円は、損益勘定
留保資金等で補てんするものとする。

(5) 主要施策の概要(税込額)

(単位:百万円)

事 項	予算額	収益的支出	資本的支出	説 明
4. 市民に見える下水道を目指します (1) 水インフラに関する国際貢献事業 (2) 広報強化策の展開	2 5	2 5	— —	・地元企業等の海外展開の支援 ・ベトナム国キエンザン省における下水道事業化に向けた人材育成プログラム(3年間)の実施 ・「こうべ下水道66展」の開催(9/10下水道の日) ・「こうべ下水道フォトコンテスト」及び「こうべ下水道コンクール」等の実施 ・下水道ポスターの製作 ・こうべアクアサポーター制度 ・各水環境フェア、処理場見学の実施など
(3) デザインマンホールの展開	—	—	—	・「第2回マンホールデザインコンテスト」の実施など
5. 持続可能な下水道サービスを提供します (1) 下水道ストックマネジメント計画策定 (2) 中部処理場跡地利用	42 231	— —	42 231	・施設の計画的な維持管理と改築更新により機能保全を図るため、計画を策定 ・跡地活用及び周辺環境整備

1 汚水管きよ・施設等の改築更新事業について

(1) 汚水管きよの改築更新の加速 (29 年度事業費 : 5,744 百万円)

昭和 40 年代後半の高度経済成長期に集中的に整備した汚水管きよの老朽化が進行しており、道路陥没や下水道の機能低下・停止等、社会生活への深刻な影響が懸念される。

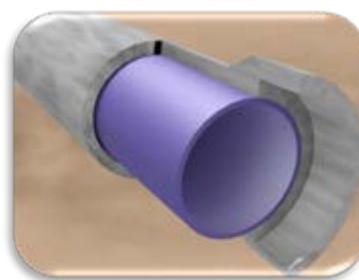
汚水管きよの改築更新事業としては、市内にある約 4,100 km の汚水管きよのうち、約 2,500 km の鉄筋コンクリート管を対象に、予防保全の観点から、耐震化を含めた計画的な改築更新を実施する。

中期経営計画「こうべアクアプラン 2020」計画期間である平成 28 年度～平成 32 年度の 5 年間は、年間の事業量を前計画の約 2 倍とし、汚水管きよの老朽化対策を加速する。

なお、平成 29 年度は、三宮・元町・兵庫駅周辺の市街地中心部に加え、阪急六甲駅・JR 六甲道駅・兵庫区役所周辺などについても本格的に改築更新を実施する。



管きよ改築前



管きよ改築後

(2) 西部処理場北系整備 (29 年度事業費 : 2,292 百万円)

昭和 40 年に供用を開始した西部処理場は、耐用年数である 50 年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、改築更新を実施する。改築更新にあたっては、大阪湾の水質環境基準の達成・維持のため、高度処理の導入を図る。平成 29 年度は、前年度に引き続き、既設 1 系水処理施設の代替施設となる北系水処理施設の築造工事を実施する。



(3) 魚崎ポンプ場改築更新 (29 年度事業費 : 1,139 百万円)

昭和 37 年に供用を開始した魚崎ポンプ場は、耐用年数である 50 年が経過し、また、阪神・淡路大震災の影響により躯体の劣化が著しいことから、改築更新を実施する。現ポンプ場を供用しつつ段階的に新ポンプ場に切り替える難易度の高い工事のため、設計施工一括発注方式 (DB 方式) を採用し、民間事業者の技術力を最大限に活用する。事業期間は平成 44 年度までであり、平成 29 年度は、前年度に引き続き東側の既設建屋の撤去を行った後、放流渠築造に着手する。



2 浸水対策事業の促進について (29 年度事業費 : 1,154 百万円)

西河原地区 (西区) をはじめ、浸水の危険性の高い低地盤地区等において、浸水被害の低減を図るため、雨水幹線等の整備を行う。

また、平成 27 年の水防法の改正に伴い、大規模な地下街を有する神戸駅周辺を対象に、想定最大規模の降雨に対する浸水想定区域及び雨水出水特別警戒水位の設定について検討する。

3 下水道資源の有効活用について

(1) こうべバイオガス事業 (29 年度事業費 : 144 百万円)

下水処理の過程で発生する消化ガスを精製し、「こうべバイオガス」として、発電用燃料、自動車燃料、一般家庭等への供給を引き続き実施する。また、施設の上部空間と「こうべバイオガス」を活用した、大規模太陽光発電とバイオガス発電を行う「こうべWエコ発電プロジェクト」(垂水処理場)に続いて、固定価格買取制度 (FIT) を活用したバイオガス発電事業 (玉津処理場) を実施する。

(2) こうべ再生リン事業 (29 年度事業費 : 3 百万円)

「KOB Eハーベスト (大収穫) プロジェクト」として、貴重資源であるリンを下水汚泥の中から効率的に回収し、「こうべ再生リン」としての資源化に取り組んでいる。肥料活用し農村部に還元することで、地産地消の取り組みに貢献する。